

県北中山間地における特色ある米作りに向けた取組

県北農林事務所常陸大宮地域農業改良普及センター

常陸大宮市では令和5年度から有機栽培米生産を推進しており、作付面積が年々拡大しています。また、大子町では米コンテストへの出品を推進しており、上位入賞をすることで良食味米産地として知名度の向上を図っています。普及センターでは、有機栽培米について実証ほを活用した栽培管理指導を行い収量向上を図るとともに、スマート農機導入の労力削減効果を明らかにしました。また、良食味米について斑点米カメムシに対する病害虫防除指導を行い、品質向上につなげました。

有機栽培米の安定生産支援

有機栽培米の収量を向上させるために土壌改良材施用などの実証ほを活用した栽培管理指導及び現地講習会を行った結果、収量が向上しました。また、関係機関と連携し、有機栽培米の普及拡大を図った結果、新規生産者を確保できました。

(収量) (R6) 354kg/10a → (R7) 358kg/10a

(作付面積) (R6) 8.6ha → (R7) 14.6ha

(生産者数) (R6) 3経営体 → (R7) 5経営体



図1 現地講習会の土質調査の様子



図2 稼働中のGNSS制御抑草機

スマート農機を活用した労力削減

有機栽培米の除草労力削減に向けて、国の事業を活用し、スマート農機（GNSS制御抑草機）の試験導入支援を行いました。その結果、慣行区と同等の抑草効果が確認でき、加えて、10a当たりの除草にかかる労働時間は87%削減となり、労働力削減効果を確認できました。

(10a当たりの除草時間) 2.3時間 → 0.3時間

良食味米のブランド化支援

「ゆうだい21」について、品質向上に向けて斑点米カメムシ類適期防除指導等を実施した結果、1等米比率が向上しました。さらに、「ゆうだい21」は各種米コンテストで上位入賞し、大子産米の知名度向上につながりました。

(1等米比率) (R6) 50% → (R7) 70%

(主な受賞歴)

- ・第27回米・食味分析鑑定コンクール国際大会
国際総合部門 特別優秀賞
- ・第5回いばらき米の極み頂上コンテスト
レギュラー米部門 ローズドール賞



図3 米コンテスト受賞式の様子